

地方創生関連交付金活用事業に対する評価（案）
（平成 29 年度末時点）

<地方創生推進交付金>

1	宮城・山形の魅力ある地域資源の輸出拡大による攻めの農林水産業推進事業	---	1
2	世界が認める『酒処“YAMAGATA”』魅力発信プロジェクト	-----	2
3	地方航空路線を利用した新たな観光ビジネス創出事業	-----	3
4	フルーツラインJR左沢線を活用した「観光振興×まちづくり×公共交通」広域 連携プロジェクト	-----	4
5	岩手・宮城・秋田・山形連携による未来を創るものづくり企業等イノベーション 創出促進事業	-----	5
6	がんメタボローム研究推進支援事業	-----	6
7	東北の「ものづくり」をけん引する山形・宮城の「産業人材・地域づくり」事業	---	7
8	官民協働・地域間連携（中間支援プラットフォーム構築）による住民主体の地域 づくり推進事業	-----	8

<地方創生拠点整備交付金>

1	やまがた 6 次産業拠点施設整備事業	-----	9
2	水稻原々種等専用乾燥調製・貯蔵施設整備事業	-----	10
3	次世代型低コスト大型ハウス実証拠点整備計画	-----	11
4	庄内浜産水産物の付加価値向上のための研究研修施設整備事業	-----	12
5	地域の特性を活かした交流観光推進計画	-----	13

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	宮城・山形の魅力ある地域資源の輸出拡大による攻めの農林水産業推進事業		
事業計画期間	平成28年度～平成32年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出	
		観光立県山形で「しごと」を創出	
事業の概要	両県が誇る多様な農林水産物について、連携して海外への販路拡大を図るとともに、これを契機にインバウンドの拡大につなげ、消費と交流人口の拡大の好循環によるしごとの創出を目指す。		
事業費(千円)	356,271	(うち交付金充当額)	178,135

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	最終年度(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
製造品出荷額(食料品製造業)	4,500億円	3,260億円	3,756億円	統計値未発表	その他
農業産出額	2,580億円	2,115億円	2,301億円	統計値未発表	その他
海外でテストマーケティングを実施した商品数(農林水産物・加工食品の定番化の品目数)	150品	93品	130品	114品	概ね順調

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	輸出への新規取組者の増加や販路拡大につながっており、農林水産業の収益力向上が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	世界が認める『酒処“YAMAGATA”』魅力発信プロジェクト		
事業計画期間	平成29年度～平成31年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出	
事業の概要	<p>地理的表示(GI)「山形」の指定や国内外での日本酒品評会での高い評価など、本県の強みである「日本酒」のさらなるブランド価値向上及び県産日本酒を核とする県産品の取引拡大、さらには交流人口の拡大を目的に、世界的にも影響力のある日本酒品評会「IWC「SAKE部門」審査会」の2018年開催を本県に招致する。</p> <p>招致にあたっては、県、市町村、関係団体で構成する「IWC2018「SAKE部門」やまがた開催支援委員会」を設立し、官民一体となって取り組んでいく。</p>		
事業費(千円)	14,000	(うち交付金充当額)	7,000

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	最終年度(H31年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
山形県産日本酒のうち特定名称酒の生産量(課税数量)の増加	9,594.68kl	9,312.5kl	9,405.63kl	集計中	その他
山形県産日本酒の輸出量の増加	475.81kl	357.48kl	393.23kl	405.68kl	達成
外国人延べ宿泊者数	100,200人	88,200人	92,200人	117,830人	達成

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	IWC「SAKE部門」審査会の開催により、県産日本酒の認知度向上・販売拡大につながっている。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	地方航空路線を利用した新たな観光ビジネス創出事業		
事業計画期間	平成28年度～平成32年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かし雇用を創出	安心と活力ある地域を創出
	具体的な施策	観光立県山形で「しごと」を創出	暮らしや産業経済活動を支える社会資本を整備促進
事業の概要	山形県と中京圏の双方向の観光資源「西の伊勢参り、東の出羽三山参り」を戦略的に「もうかるコンテンツ」にすることを目的に、山形・三重両県の関係者からなる「いせでわ」DMO(仮称)を設立し、自立を目指して、新たなビジネスモデルの創出等の取組みを展開するとともに、山形～名古屋便の路線の維持・定着を確実なものとし、新たな航空路線開拓によるマーケット拡大、新たなストーリーづくりの展開など、地方航空路線の維持・拡充による観光ビジネスの創出を図る。		
事業費(千円)	50,000	(うち交付金充当額)	25,000

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	最終年度(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
名古屋便搭乗者数	80,000人	36,309人	72,500人	65,943人	概ね順調
山形空港全体搭乗者数	259,000人	223,059人	250,000人	304,973人	達成
「いせでわ」ホームページ、山形空港ホームページを合算したアクセス数(5カ年毎年10%増)	945,543件	587,108件	710,401件	422,841件	策定時を下回る

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	山形空港の航空路線の維持・拡充につながっており、観光ビジネスの拡大が期待される。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	フルーツラインJR左沢線を活用した「観光振興×まちづくり×公共交通」広域連携プロジェクト		
事業計画期間	平成28年度～平成32年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	観光立県山形で「しごと」を創出	
事業の概要	西村山1市4町において、観光インフラ等であるフルーツラインJR左沢線を活用し、「雪」などの地域資源を活用した観光マーケティング(顧客満足度調査やイベント等)を実施することで、地域外からの新しい「ひと」の流れを広域観光において創り、その入口となり公共交通の核となる駅の周辺について創業支援を通じて活性化させ、その活性化を地域内各地に波及させるものである。		
事業費(千円)	24,500	(うち交付金充当額)	12,250

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	最終年度(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
観光客数	47,546,351人	44,904,000人	45,942,730人	集計中	その他
創業支援対象者及び創業者数	271件	212件	234件	集計中	その他
左沢線乗車人員	190,099人	176,295人	181,623人	集計中	その他

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	「雪」を活用した広域観光誘客により、冬期間の観光需要の底上げにつながっており、観光交流による地域活性化が期待できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の 名称	岩手・宮城・秋田・山形連携による未来を創るものづくり企業等イノベーション 創出促進事業		
事業計画期間	平成28年度～平成30年度		
総合戦略における 位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	本県の誇る世界最先端の技術等で「しごと」を創出 山形の産業をけん引する人材を育成	
事業の概要	高付加価値産業(自動車、有機エレクトロニクス、バイオテクノロジー)への 地元中小企業の参入や取引拡大、マーケティング支援、学術機関と連携した 技術開発や人材育成等に取り組むことで、企業の「稼ぐ力」を高め、「質の高 い雇用」を創出し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶ好循環 を確立する。		
事業費(千円)	180,008	(うち交付金充当額)	90,004

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標 (KPI)	最終年度 (H30年度)	申請時	事業終了時 目標値 (H29年度)	事業終了時 実績値 (H29年度)	進捗状況
関係各県のものづくり関 連分野の製造品出荷額 等(ものづくり関連分野 の製造品出荷額)	28,052億円	26,081億円	27,395億円	統計値未発表	その他
関係各県の産業振興施 策による雇用機会創出 者数(立地補助金による 新規雇用創出数)	420人	324人	388人	649人	達成
関係各県への県外から の移住・定住者数(移住 サポートセンター等を通 じた移住者数)	203人	23人	123人	96人	さらに 取組む

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	自動車関連技術展示商談会の開催や有機EL照明の量産化への支援、バイ オ研究成果を活用した事業化の推進により、成長分野での取引拡大が期待 できる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	がんメタボローム研究推進支援事業費		
事業計画期間	平成28年度～平成32年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	本県の誇る世界最先端の技術等で「しごと」を創出	
事業の概要	慶應義塾大学先端生命科学研究所及び日本有数のがん研究成果の蓄積と豊富な臨床検体を有する国立がん研究センターと連携し、世界最先端のメタボローム解析技術を用いて、がんに関連する代謝メカニズムの解明とデータベース化を図り、研究成果の事業化を推進する。		
事業費(千円)	150,337	(うち交付金充当額)	75,168

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	最終年度(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
がんメタボローム研究に有用な検体を選定し行うメタボローム解析数	1,550件(累計)	0件	350件(累計)	460件(累計)	達成
がんに関連する代謝物の発見数	7件	0件	1件	1件	達成
がん研究センターとの連携した企業との共同研究も含めた共同研究数	2件	0件	0件	0件	達成

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	着実ながんメタボローム共同研究が進捗しており、有効と認められる。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	東北の「ものづくり」をけん引する山形・宮城・岩手の「産業人材・地域づくり」事業		
事業計画期間	平成28年度～平成32年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	山形に住もう・帰ろうプロジェクトを推進
	具体的な施策	山形の産業をけん引する人材を育成	若者就業支援プログラムを展開
事業の概要	<p>地域産業振興の中核となる人材の確保・育成や企業へのマッチングを行うと同時に、首都圏等からのプロフェッショナル人材のUIJターンの流れを加速化するため、官民協働により情報発信と受入体制の強化を図り、移住から定着に至るまでの一貫した支援を行う。</p> <p>子育て世代や障がい者等の就業を促進するため、労働意欲の喚起や就業支援を行うほか、雇用側である企業の意識改革を促し、雇用環境の改善を支援する。</p>		
事業費(千円)	240,889	(うち交付金充当額)	123,671

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	最終年度(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
製造品出荷額(ものづくり関連+食料品製造業)	33,866億円	29,341億円	31,151億円	統計値未発表	その他
UIJターン就業者数(UIJターン情報センター紹介による就職者数)	40人	29人	40人	22人	策定時を下回る

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	プロフェッショナル人材のUIJターンや、若者の県内就職促進、女性の就業支援などにより、県内産業を支える人材の育成・確保につながっている。

地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	官民協働・地域間連携(中間支援プラットフォーム構築)による住民主体の地域づくり推進事業		
事業計画期間	平成28年度～平成32年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	安心と活力ある地域を創出	
	具体的な施策	子育てや介護、障がい者の自立等を地域ぐるみで支援 文化等を通して地域の愛着・誇りを醸成	
事業の概要	人口減少下において、地域で暮らし続けたいという住民の要望を叶えるためには、地域住民が主体となって、暮らしに必要な機能やサービスを補っていくことが重要であり、山形県・市町村・中間支援組織で中間支援プラットフォームを構築し、官民連携・地域間連携による住民主体の地域づくりを推進する。		
事業費(千円)	108,191	(うち交付金充当額)	54,095

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	最終年度(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
中間支援プラットフォームによる住民主体の地域活動拠点(地域運営組織)形成	122件	0件	12件	10件	概ね順調
任期終了した地域おこし協力隊の本県定住率	65.3%	40.3%	42.3%	集計中	その他

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	地域運営組織が着実に形成されており、有効と認められる。

地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	やまがた6次産業拠点施設整備事業		
事業計画期間	平成29年3月～平成30年3月		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出	
事業の概要	<p>「食産業王国やまがた」の実現を目指し、農業者や食品製造業者が県産農産物を活用した加工品開発に取り組んで付加価値の高い農業生産を拡大する施設を整備する。また、この施設において、研修会や各種講座を開催し、高校生や大学生等の若い人材の育成や大学との連携を進めていく。</p>		
事業費(千円)	270,442	(うち交付金充当額)	135,221

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	5年目(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
6次産業拠点施設を活用した新商品販売額の増加額	70,000千円	0千円	0千円	— (稼働期間なし)	その他
H29年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定					
6次産業拠点施設を活用した新商品販売件数	30件	0件	0件	— (稼働期間なし)	その他
H29年度末までに施設を整備する計画のため、目標値をゼロに設定					
県内農業者等による加工品販売額の増加額	33億円	30.5億円	31.1億円	集計中	その他

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、県産農産物を活用した加工品開発の増加が期待できる。

地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	水稻原々種等専用乾燥調製・貯蔵施設整備事業		
事業計画期間	平成29年3月～平成30年3月		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出	
事業の概要	<p>水稻種子の基となる原々種および原種種子生産を行っている農業総合研究センター内に、多種多様な品種を効率良く乾燥調製して複数年冷蔵保管できる水稻原々種等剪葉乾燥調製・貯蔵施設を整備し、米に対する消費者ニーズの変化に速やかに対応できる種子供給体制を構築する。</p>		
事業費(千円)	145,657	(うち交付金充当額)	72,828

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	5年目(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
消費者ニーズにあった新品種等の導入による山形県産米全銘柄品種の平均価格(60kg当たり)の向上	12,243円	11,226円	12,107円	12,883円	達成
水稻原々種等専用乾燥調製・貯蔵施設の活用による供給可能な原種種子の品種数の増加	22品種	19品種	20品種	20品種	達成
県が育成した品種において米の食味ランキング最高位「特A」獲得する品数の拡大	4銘柄	2銘柄	2銘柄	2銘柄	達成

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、多種多様な種子の提供が可能となり、県産米の販売額向上が期待できる。

地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	次世代型低コスト大型ハウス実証拠点整備計画		
事業計画期間	平成29年3月～平成30年3月		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出	
事業の概要	園芸品目の産出額増加と所得向上を図るためには、周年で生産が可能となる施設園芸について重点的に取り組むことが重要となっている。そこで東北日本海側の気候に対応した低コスト・省エネルギー環境制御型の次世代型低コスト大型ハウスを整備して、本県の気候に適合した栽培体系や施設の管理方法を開発実証し、県内一円に普及できる技術を構築する。		
事業費(千円)	49,338	(うち交付金充当額)	24,305

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	5年目(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
トマトの算出額の増加	45億円	36億円	37億円	統計値未発表	その他
トマト生産経営体あたりの販売額の増加	4,200千円	3,500千円	3,780千円	3,596千円	概ね順調

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設を活用して構築された周年生産体系の新技术により、園芸作物の生産拡大が期待できる。

地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	庄内浜産水産物の付加価値向上のための研究研修施設整備事業		
事業計画期間	平成29年3月～平成30年4月(事故繰越)		
総合戦略における位置づけ	基本目標	豊かな山形の資源を活かして雇用を創出	
	具体的な施策	地域の多様な資源を活用して「しごと」を創出	
事業の概要	庄内浜産水産物のブランド化、加工品開発による高付加価値化を推進するため、水産物の鮮度保持等のための検査・研究機能、水産関係者による加工品試作・開発機能、水産物や漁業への関心を高めるための研修機能を持った研究研修施設を整備する。		
事業費(千円)	153,910	(うち交付金充当額)	76,955

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	5年目(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
海面漁業・養殖業の生産額のうち「庄内おぼこサワラ」の平均単価(kg当たり)の上昇率	10%	0%	4%	52%	達成
本施設を活用して庄内浜産水産物として新たに開発したブランドの数	6件	0件	1件	— (稼働期間なし)	その他
東京市場に出荷した庄内浜産魚介類の出荷額の上昇率	8%	0%	2%	-79%	策定時を下回る

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、水産加工品の開発の増加や庄内浜産水産物の販売額向上が期待できる。

地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業の名称	地域の特性を活かした交流観光推進計画		
事業計画期間	平成29年3月～平成30年3月		
総合戦略における位置づけ	基本目標	安心で活力ある地域を創出	
	具体的な施策	県と市町村間における広域連携を促進	
事業の概要	<p>最上町は、赤倉温泉地区の観光交流拠点施設となるよう、産地直売所、露天風呂及び観光交流スペース等を整備する。</p> <p>山形県は、効果促進事業として、最上小国川流水型ダムのライブ映像、県内の河川や道路などの防災情報及び最上小国川沿いの四季折々の映像製作などを行う。</p>		
事業費(千円)	10,216	(うち交付金充当額)	5,108

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	5年目(H32年度)	申請時	事業終了時目標値(H29年度)	事業終了時実績値(H29年度)	進捗状況
「おくのほそ道」赤倉ゆけむり館の利用者数	19,004人	4,204人	5,804人	— (稼働期間なし)	その他
「おくのほそ道」赤倉ゆけむり館の利用料金額	28,790千円	1,515千円	7,880千円	— (稼働期間なし)	その他
赤倉地区内の観光入込客数	103,669人	43,669人	55,669人	集計中	その他

3 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、観光交流の拡大が期待できる。